

## 【SR-9 定性的システマティックレビュー 記入方法】

CQ	管理番号	CQの文章を記入する。
P		CQの文章を補足する十分に詳細な記述をする。タイミングやセッティングも必要に応じて記述する。
I		介入の詳細を記述する。
C		1:1の比較が望ましいが、必要に応じて複数の比較を記述する。
臨床的文脈		診療のプロセスのどこに位置付けられるか、診断、治療、予防、予後予測、その他のいずれに分類されるかなどを記述する。

01		害のようにCQの文章に表れない場合もあるが、エビデンス総体の対象が分かるように記述する。
非直接性のまとめ		CQと得られたエビデンス総体間の乖離について記述する。介入の比較が非直接的である場合や日本人患者への適用に問題がある場合には必ず記述する。
バイアスリスクのまとめ		特に問題となるバイアスリスク、推奨の決定に影響を及ぼすバイアスリスクを記述する。
非一貫性その他のまとめ		複数の研究間の相違の大きさ、信頼区間やバイアスリスクから判定した不確実性、効果の大きさなどについてまとめを記述する。研究デザインが異なるものをまとめた場合はそれについて記述する。
コメント		このアウトカムに関するエビデンス総体の評価において特に注意すべき点があればそれを記述する。

02		
----	--	--

03		
----	--	--

⋮